

2021年度 短期交換留学（派遣） [第1回募集] 募集要項

琉球大学（以下「本学」という。）では、「国際交流の推進」を基本理念の一つとして、海外の大学等との教育・研究交流を推進しており、2020年9月1日現在40か国・地域の125大学と国際交流協定を締結している。これらの協定大学のうち101大学とは「学生交流協定（覚書）」を併せて締結している。短期交換留学（派遣）プログラムとは、この「学生交流協定（覚書）」に基づいて、本学に在籍したまま海外の大学へ留学するプログラムである。

また、本学は、短期交換留学（派遣）制度の更なる充実を図るために、2019年4月に ISEP (International Student Exchange Programs) に加盟した。ISEP は、1979年にワシントン市で設立され、世界各国の加盟校間で学生交換留学を推進する非営利法人で、世界的なネットワークを保有するコンソーシアムである。ISEP 加盟校は、米国本土に約165校、全世界では54カ国300校以上に広がっており、中南米、欧州及びアフリカなど、本学が協定校を有しない国、地域の大学にも短期交換留学が可能となった。

ISEP 公式ホームページ：<https://www.isepstudyabroad.org/>

更に、本募集からUMAP (University Mobility in Asia and the Pacific) 加盟大学への短期交換留学についても募集を開始する。UMAPとは、アジア太平洋地域における高等教育機関間の学生・教職員の交流促進を目的として1991年（平成3年）に発足した政府および非政府の代表からなるコンソーシアムで、カナダ、メキシコ等19の加盟対象国の加盟大学への留学が可能となる。

UMAP公式ホームページ：<http://umap.org/>

ISEP及びUMAPによる短期交換留学についても、従来の短期交換留学（派遣）制度と同様に本募集要項により募集する。申請にあたっては、両者の公式ホームページに掲載されている加盟大学情報を検索し、派遣期間中に専攻分野の学習・研究ができることを確認の上、申請すること。

<新型コロナウイルス感染症による影響について>

本学では、外務省が定める諸外国における海外安全情報において、感染症危険レベルが2以上の国・地域には短期交換留學生を派遣しないこととしている。本募集の申請・選考を経て交換留学推薦枠を獲得した場合でも、感染症危険レベル、あるいは派遣先国・地域または派遣先大学等の決定によっては、交換留学開始時期の延期、留学期間の短縮又は派遣中止の可能性があることを念頭に申請すること。

1 応募資格

次に掲げる全てに該当する者を対象とする。

- (1) 応募時に本学学部又は大学院の正規課程に在籍しており、派遣期間開始時から終了時までの期間を通して本学学部又は大学院の正規課程に在学する者
- (2) 学業成績が優秀で、人格等に優れている者
- (3) 留学の目的及び計画が明確で、派遣先大学への留学による効果が期待できる者
- (4) 留学期間終了後、本学に戻り、学業を継続する者又は本学の学位を取得する者
- (5) 派遣先大学所在国への留学に必要な査証を確実に取得し得る者
- (6) 派遣先大学が定める入学基準及び語学基準を有する者

2 募集対象の派遣先大学及び派遣人数上限

P8～P12記載の「学生交流協定（覚書）締結校別募集対象人数一覧」で確認すること。また、取消線で消されている協定校及びP12の「4. 部局間交流協定校のうち、学生交流協定を締結している大学」の21校は、今回の募集対象ではない。部局間交流協定校への留学希望がある学部等学生は、所属する学部の事務室（学務係）に問い合わせること。但し、部局間交流協定のうち、本学国際教育センターと学生交流協定を締結している協定校に限り、全学部・研究科所属の学生を募集対象とする。

3 派遣期間

1 学期間又は1年間

但し、派遣留学決定後に派遣先大学が指定する入学手続き期限までに入学手続きを完了することが可能である学期で、2022年3月までに開始される学期から対象とする。具体的にいずれの学期から派遣開始可能であるか、希望派遣先大学を特定した上で必ず本件担当に確認をすること。

4 派遣先大学における身分

非正規生（特別聴講学生、特別研究生等）

5 授業料等

学生交流協定、ISEP又はUMAPとの覚書に基づき授業料不徴収となり、派遣先大学の検定料、入学料及び授業料が免除される。但し、留学期間中も本学に在籍している状態にあるため、本学の授業料は納入しなければならない。

6 単位互換

短期交換留学（派遣）プログラムにおける留学は、語学留学と異なり、派遣先大学において専門分野の教育や研究指導を受けることになる。派遣先大学で取得した単位は、帰国後本学において所属学部・研究科の承認が得られれば、卒業・修了要件の単位として認定される。単位認定可能な科目等は各学部・研究科によって異なるため、派遣希望の協定大学で提供されている授業科目等について、各大学公式Webサイト等で情報収集し、学習計画について事前に指導教員や所属学部事務室（学務係）と相談すること。所属学部等に単位互換の申請をする際には、派遣先大学が発行した成績証明書とシラバス等が必要となるため、詳細は所属学部事務室（学務係）に確認しておくこと。

7 事前登録

申請希望者は、2020年11月16日（月）までに以下のURL又はQRコードリンク先の事前登録フォームに大学のメールアドレス「*****@cs.u-ryukyu.ac.jp」でログインし、指定された情報を入力すること。

https://forms.office.com/Pages/ResponsePage.aspx?id=rRfPh1q7-0GAwEsNWY8-nRgBqWkV4sJOh25CJ7I_IIRUN09XNjA1TVpNMFRSVE1GRlhPSIFEWkxCNS4u



8 提出書類

募集要項及び様式類は以下 URL [リンク](https://ges.skr.u-ryukyu.ac.jp/study-abroad/public-offering/2021haken1/)先からダウンロードすること
<https://ges.skr.u-ryukyu.ac.jp/study-abroad/public-offering/2021haken1/>



- ①短期交換留学（派遣）申請書（別紙様式1）
※第2希望がある場合は、まとめて記入すること
- ②短期交換留学派遣候補者推薦書（別紙様式2）
※推薦書は指導教員や申請者の語学力を証明可能な教員が作成し、学業成績が優秀で、派遣先大学における学修・研究活動上、十分な語学力を備えていることなどを必ず明記すること。
- ③成績表（教務情報システムにログインのうえ、印刷可能）
- ④語学力証明書等
希望派遣先大学が課す基準点に達していること。学部への申請書類提出時に要件を満たした証明書等を提出できない場合は、**2020年11月24日（火）14:00**までに学生部国際教育課に直接提出すること。上記期限までに派遣先希望大学が課す語学基準を満たす語学試験のスコアシート写しの提出がない者については、面接審査を実施しない。
 - 1) 語学要件がある大学に申請する場合：希望派遣先大学が指定するTOEFL/IELTS又は各語学試験スコア等の写し
 - 2) 語学要件がない大学に申請する場合：希望派遣先大学で専門の講義を受講し、単位を取得するに足りる語学力があることを示す証明書等。
- ⑤家計基準確認用チェックリスト（奨学金受給希望者のみ、必要に応じて所得証明書等も提出。）

9 申請書類提出期限

各学部・研究科の提出期限は学部事務室・掲示板等で確認すること。

10 申請書類提出先

- (1) ①～⑤（紙媒体）→ 所属学部等の事務室（学務係）
- (2) ①ファイル名を「学籍番号_氏名」（例. 「192345Z_琉大花子.pdf」）で設定した別紙様式1のPDF形式のデータを以下のURL又はQRコードリンク先の申請書提出フォームに大学のメールアカウント「*****@cs.u-ryukyu.ac.jp」でログインし、アップロードすること。

https://forms.office.com/Pages/ResponsePage.aspx?id=rRfPh1q7-0GAWesNwY8-nRgBqWKV4sJOh25CJ7L_IIRUMTVVNkVWMUtFTlhJQ0ZQNvFVMUtSVIZVTS4u



11 選考

要件を具備した申請書類全てを提出期限までに提出した者について、書面審査及び面接審査（日本語及び希望派遣先大学等で修学上必要な外国語）を実施する。

1.2 面接審査

日時：2020年12月2日（水）

午前9時00分から午後5時まで（面接審査対象者1名あたり10分程度）

面接日時及び面接方法は2020年11月25日（水）以降個別に通知する。

場所：琉球大学 地域国際学習センター（放送大学入居ビル）1階又は2階

その他：面接日時は、応募人数等によって変更する場合があります、その場合は個別に日程変更を通知する。また、新型コロナウイルス感染症拡大の状況によってはオンライン面接になる可能性があり、面接方法については面接日時と合わせて通知する。

1.3 選考結果の通知

選考結果は、2021年1月下旬に所属学部等を通じて通知する。選考結果は、書類審査及び面接審査の結果を踏まえた総合的な判断に基づくものであり、採否結果以外（不採用になった理由等）は公表しない。

1.4 事前研修

短期交換留学生として採用された場合、以下の全ての事前研修に必ず参加すること。事前研修が補講等の講義日程と同日となる場合、別途日程調整するが、無断で欠席した場合や事前研修全日程に参加しない採用者については、採用を取り消すこととする。なお、研修内容や実施の順番が前後する可能性はあるが、2021年2月17日～19日の日程は確保しておくこと。但し、新型コロナウイルスへの対応によってはオンライン研修になる可能性があり、研修方法については、選考結果通知後に国際教育課本件担当から詳細を連絡する。

- (1) 事前研修①：2021年2月17日（水）09:00-12:00 BEVI-Jの受験
- (2) 事前研修②：2021年2月17日（水）13:00-16:00 沖縄と日本の歴史・文化
- (3) 事前研修③：2021年2月17日（水）16:00-17:30 安全危機管理セミナー
- (4) 事前研修④：2021年2月18日（木）09:00-12:00 グローバル人材とは
- (5) 事前研修⑤：2021年2月18日（木）13:00-16:00 派遣先国・大学の事前調査
- (6) 事前研修⑥：2021年2月18日（木）16:00-17:30 短期交換留学制度の仕組み
- (7) 事前研修⑦：2021年2月19日（金）09:00-12:00 琉球大学紹介プレゼン作成
- (8) 事前研修⑧：2021年2月19日（金）13:00-16:00 琉球大学紹介プレゼン発表
- (9) 事前研修⑨：2021年2月19日（金）16:00-17:00 学生メンターとの交流
- (10) 事前研修⑩：2021年2月19日（金）17:00-18:00 留学計画の確認、留学目標設定

1.5 中間報告

派遣先大学における派遣期間中、以下について中間報告を提出する。報告等の依頼を受けた際は、適切に対応すること。

- (1) 渡航後3か月経過頃 BEVI-J の再受験
- (2) 事前研修⑩で設定した現地での活動計画の進捗
- (3) 事前研修⑩で設定した留学目標の達成度についての自己評価
- (4) アンバサダー活動とSNS発信の状況

1.6 事後研修

短期交換留学終了時期に合わせて、以下の事後研修を実施する。①～④については、帰国時期に合わせて日程調整する。日程調整に対応し、必ず参加・実施すること。

- (1) 事後研修①：現地での活動と留学目標の達成について、振り返りと BEVI-J の再受験

- (2) 事後研修②：BEVI-J Follow-up Session、留学体験発表用プレゼンテーションの作成
- (3) 事後研修③：学内募集説明会、Study Abroad Fair への参加
- (4) 事後研修④：次期派遣学生の事前研修に学生メンターとして参加
- (5) 事後研修⑤：次期派遣学生の事前・事後、派遣期間中を学生メンターとしてサポート

17 採用後の手続きと留意事項

- (1) 学内選考に合格し、協定大学への留学が承認された場合、引き続き派遣先大学への入学申請手続きを進める。
 ※派遣先大学への入学申請は、学生部国際教育課を通じて行うため、申請書類等は派遣先大学が示す申請期限の3週間前までに本件担当宛てに提出すること。
 ※申請書類の中に、英文成績証明書や指導教員等による推薦書、英文による金融機関等残高証明書がある場合は、交付に時間を要することが多いため、特に留意すること。
- (2) 派遣先大学における入学審査を通過し、入学許可書を受領してはじめて派遣留学が最終決定する。学内選考合格＝派遣留学決定でないことに留意すること。
- (3) 派遣留学が決定した学生は、本学が契約する「海外派遣学生向け安全管理アシスタンスサービス [OSSMA]」に必ず加入すること。同サービス加入に際して、派遣期間に応じた個人会費（税込費用目安：10,800円/3か月～29,160円/12か月）の負担が必要となる。加入手続き等については、派遣留学が決定した学生に別途通知する。
- (4) 学生寮に居住している者は、必ず学生寮事務室に届け出て、所定の手続きをすること。交換留学の場合、寄宿料を納入する限りにおいて、居室を確保したまま留学することができる。
- (5) 独立行政法人日本学生支援機構（以下「JASSO」とする）の奨学金等や授業料免除を受けている者は、必ず学生支援課窓口届け出て、所定の手続きをすること。
- (6) その他地方自治体・企業・団体等による奨学金制度の支援を受けている者又は新たに応募を検討している者は、必ず本件担当及び学生支援課奨学係まで報告すること。

18 奨学金制度

留学先での経済的支援として、下記の給付型（返済不要）奨学金制度に申請することができる。また、学外の奨学金受給者は、本学における派遣推薦決定者の中から大学が受給候補者を推薦し、各実施機関が決定するため、採否通知は、派遣推薦者の決定通知より後となる場合がある。2020年度の奨学金概要は、以下のとおりであるが、新型コロナウイルス感染症の影響で今後支援内容が変更される可能性があることに留意すること。

- (1) JASSO 海外留学支援制度
 支援額：奨学金月額6万円～8万円（派遣先国・地域によって異なる）、
 留学準備金16万円（家計基準あり）
 支援期間：最長12月
 支援人数：未定
- (2) 琉球大学岸本基金寄附金人材育成支援事業 海外留学支援制度
 （協定派遣）奨学金
 支援額：奨学金月額12万円、留学準備金24万円
 支援期間：最長12月
 支援人数：年間2名程度
- (3) 琉球大学QUEST基金 短期交換留学（協定派遣）奨学金
 支援額：奨学金月額6万円～8万円（派遣先国・地域によって異なる）、

留学準備金 16 万円（家計基準あり）

支援期間：最長 11 月

支援人数：年間 35 名程度

(4) 公益財団法人琉球大学後援財団国際交流奨励事業「留学生派遣奨励金」

支援額：奨学金月額 60,000 円

支援期間：最長 10 月

支援人数：年間 2 名

18 ISEP による短期交換留学に申請する際の留意事項

- (1) 本募集で申請できる ISEP のプログラムは、ISEP Exchange（授業料免除型）のみとする。ISEP Direct（授業料負担型）は、今回の募集には含まれない。
- (2) ISEP Exchange（授業料免除型）により留学する場合、以下の支援を受けることができる。
 - ① 宿舎費及び食費（派遣先大学での宿舎費及び基本的な食費の支払は不要）
 - ② ビザ申請に関するサポート
 - ③ 留学期間中の学習・研究に関する相談窓口
 - ④ 緊急事態における 24 時間サポート
 - ⑤ 派遣先大学におけるオリエンテーション
 - ⑥ 成績証明書及び単位互換に必要な書類発行
- (3) 学内選考を経て ISEP による短期交換留学が認められた申請者は、ISEP ウェブ申請の際に派遣希望大学を 10 校選択する。但し、それら 10 校への派遣は確約されるものではなく、ISEP コーディネーターと調整の上、選択した 10 校以外の大学に配置される場合がある。
- (4) 申請者は、ISEP ウェブ申請時に申請料 100US\$を負担することとなる。本申請料は、留学を取り止めた場合でも返還されない。
- (5) 申請後、5 週間以内に ISEP による派遣先大学の配置オファーが届く。当該オファーを受諾する場合、申請者は配置費用として 375US\$を負担する。本配置費用は、留学を取り止めた場合でも返還されない。
- (6) ISEP により留学する場合、月額 90US\$の医療保険料を負担しなければならない。当該医療保険加入により、いずれの ISEP 加盟大学に留学する場合も海外旅行保険への別途加入は不要となる。
- (7) 本募集において、ISEP と本学の学生交流協定校及び UMAP への併願は不可とする。

19 UMAP による短期交換留学に申請する際の留意事項

- (1) 本募集で申請できる UMAP のプログラムは、2022 年春学期（1 月～3 月）派遣開始で、Program A の 2022 年 Spring Period 1st Cycle の UMAP 申請期限が 2021 年 7 月上旬で設定されているものに限定する。Program B、Program C、Summer Program、UMAP-COIL Joint Honors Program 及び 2021 年秋学期（8 月～10 月）派遣開始のプログラムは、今回の募集には含まれない。
- (2) UMAP により留学する場合、留学期間中に受講した科目の成績証明書及び単位互換に必要な書類が発行される。
- (3) 学内選考を経て UMAP による短期交換留学が認められた申請者は、2021 年 7 月の UMAP ウェブ申請の際に派遣希望大学を 5 校選択する。但し、それら 5 校への派遣は確約されるものではなく、UMAP 国際事務局と調整の上、選択した 5 校以外の大学に配置される場合

がある。

- (4) ウェブ申請完了後、2021年8月末までに派遣先大学の配置情報が届き、配置を了承した申請者は、英語による学習計画書(Study Plan)の提出が必要となる。さらに、派遣先大学が指定する申請書類を作成し、提出期限内に提出することとなる。
- (5) UMAP国際事務局による短期交換留学が確定した申請者は、JASSO海外留学支援制度奨学金(UMAP枠)に申請することが可能である。
- (6) 本募集において、UMAPと本学の学生交流協定校及びISEPへの併願は不可とする。

20 帰国後の学習計画・進路

- (1) 復学手続き、単位互換申請期限、卒業年月に十分注意する。特に教職希望者は、教育実習や採用試験、卒業予定日について、指導教員等と事前に相談すること。
- (2) 帰国後は、留学報告書、アンケート等の提出、進路調査(進学・就職)、留学促進のためのイベント、本学印刷物(大学案内等)作成への協力依頼があった場合は、学業等に支障が無い範囲で可能な限り協力すること。

21 問い合わせ先

短期交換留学(派遣)プログラム及び本募集要項について、不明な点がある場合は、下記本件担当に問い合わせること。

<本件担当>

学生部 国際教育課

留学交流係 村山 依利紗

TEL: 098-895-8761

e-mail: outbound@acs.u-ryukyu.ac.jp

<本件担当>

学生部 国際教育課 留学交流係 村山 依利紗

TEL: 098-895-8761 FAX: 098-895-8826

e-mail: outbound@acs.u-ryukyu.ac.jp

学生交流協定（覚書）締結校別募集対象人数一覧

1. 大学間交流協定校のうち、学生交流協定を締結している大学

大学名に*印が付いている大学は、国際教育センター（旧留学生センター）の部局間学生交流協定校であるが、国際教育センターは全学組織のため、大学間交流協定校と同等に派遣学生の公募を行う。「確認中」と記載されている項目については、申請書提出前に各自で国際教育課担当に確認すること。

	国・地域名	大学名	語学基準	学生交流協定書の交換留学生数	今回募集する派遣学生人数
1	台湾	国立台湾大学	中国語B1レベル/英語B1レベル	5	2
2		国立台湾海洋大学	-	2	2
3		東海大学	語学力要件は設定していないが、中国語又は英語B2レベル程度の基礎語学力があること	5	3
4		国立中山大学	語学力要件は設定していないが、基礎的な中国語/英語語学力があること	5	2
5		国立台南大学	-	2	2
6		国立澎湖科技大学	英語B1レベル又は同等、又は漢語水平考試レベル3	3	3
7		国立台湾科技大学	英語語学力試験のスコアは設定していないが、学部生であればある程度の中国語レベルを要する。英語による大学院の提供科目の受講を希望する場合は、学部最終学年以上であること。	5	2
8		開南大学	中国語のレベル要件:なし 英語による提供科目を受講する場合: TOEFL iBT60点/IELTS 5.0/TOEIC650点以上	3	2
9		台北城市科技大学	工学部以外:要件なし 工学部:基礎的な会話ができる英語力	5	5
10		中原大学	TOEIC 550点/HSK Level5	4	4
11		中国文化大学	中国語のレベル要件:基礎中国語 英語による提供科目を受講する場合: TOEIC590点以上	3	3
12		国立東華大学	-	2	0
13		東呉大学	-	2	2
14		逢甲大学	中国語による提供科目を受講する場合: HSK Level 6/TOCFL Level5 英語による提供科目を受講する場合: TOEFL iBT70/TOEIC 749	2	2
15		天主教輔仁大学	中国語による提供科目を受講する場合: 新HSK Level 5/TOCFL Level3/台湾における480-960時間又は台湾以外の国における960-1920時間の中国語学習証明書 且つ5,000語習得レベルである証明書 英語による提供科目を受講する場合: TOEIC750/TOEFL iBT79/IELTS6.0	3	3
16		静宜大学	-	3	3
17		台北医学大学	確認中	5	確認中
18		国立雲林科技大学*	英語又は中国語B1レベル	5	5
19		文藻外語大学*	基礎的な英語又は中国語	2	1

20	中国	中南林業科技大学	中国語による提供科目を受講する場合、 HSK5 英語による提供科目を受講する場合、 TOEFL PBT450点、IELTS 5.0点以上	3	3
21		福建師範大学	-	5	4
22		雲南農業大学	-	5	5
23		延邊大学	-	5	3
24		華中科技大学	-	2	2
25		対外経済貿易大学	-	2	0
26		海南大学	HSK Level4、HNU-ASU Joint International Tourism College提供科目を受講する場合は英語による提供科目を受講できるレベル	3	3
27	大韓民国	啓明大学校	-	3	1
28		済州大学校	-	2	0
29		順天大学校	-	3	2
30		延世大学校	KLAT/KLPT/TOPIK Level4 TOEFL iBT 79点以上、IELTS 6.5点以上	2	2
31		ソウル市立大学校	-	5	3
32		木浦大学校	韓国語による講義を受講可能な韓国語学力	1	1
33		湖西大学校	-	5	5
34		京畿大学校	-	3	2
35		慶熙大学校* (外国語大学)	TOPIK 3以上	2	1
36	インドネシア	サムラトランギ大学	確認中	3	3
37		ボゴール農業大学	確認中	5	5
38		ディポネゴロ大学	TOEFL ITP 500、IELTS 5.5	3	3
39	タイ	チュラロンコン大学	IELTS 6.0点以上 TOEFL iBT 79点以上	3	3
40		タマサート大学	IELTS 5.5-7.0点(参加プログラムにより異なる。) TOEFL iBT 60-85点(参加プログラムにより異なる。)	3	3
41		コンケン大学	TOEFL iBT61点/ IELTS 5.0以上が好ましいが、保有していない場合、受入開始時に受入学部の教員による面接を行う。	3	1
42		チェンマイ大学	TOEFL iBT61点以上、IELTS 5.0点以上、 TOEIC 600点以上	5	5
43		キングモンクット工科大学 ラカバン校	TOEFL PBT500点以上、IELTS 5.5点以上、 TOEIC 590点以上	3	3
44	ラオス	ラオス国立大学	確認中	3	3
45		ラオス健康科学大学	確認中	3	3
46	ベトナム	ターイグエン大学	ベトナム語(レベル等は提示なし)	5	5
47		ハノイ国立教育大学	確認中	3	確認中

48	米国	ミシガン州立大学	TOEFL iBT 79 点以上(各セクション17 点以上) IELTS 6.5 点以上	5	0
49		ダラム大学	TOEFL iBT 61 点以上 IELTS 5.5 点以上	3	0
50		ハワイ大学マノア校	TOEFL iBT 68 点以上、 IELTS 6.0 点以上	3	0
51		ハワイ大学ヒロ校	TOEFL iBT 61 点以上 IELTS 5.5 点以上	2	0
52		ハワイ大学カウアイ・コミュニティカレッジ	TOEFL iBT 45 点以上 IELTS 5.0 点以上 英検 2 級 A 以上	2	0
53		ハワイ大学マウイ・カレッジ	TOEFL iBT 61 点以上 IELTS 5.5 点以上	2	0
54		ネヴァダ大学リノ校	TOEFL iBT 61 点以上 IELTS 6.0 点以上	2	0
55		フォートルイス大学*	TOEFL iBT 61 点以上 IELTS 5.0 点以上	4	0
56	カナダ	ニューファンドランド・メモリアル大学	各学部が別に定める必須スコアあり。以下は最低基準点 IELTS 6.5 以上(各セクション5.5 以上)/TOEFL iBT 79 点以上(リスニング 17 点、ライティング 20 点、リーディング 20 点、スピーキング 17 点以上)	3	1
57	ドミニカ共和国	イベロアメリカーナ大学	確認中	3	3
58	ブラジル	サンパウロ大学	ポルトガル語 B1 レベル以上	2	2
59		ブラジリア大学	ポルトガル語 B1 レベル以上	2	2
60	アルゼンチン	国立ラプラタ大学	スペイン語中級レベル	3	2
61	ボリビア	サンタクルス・デ・ラ・シエラ私立大学	スペイン語による提供科目を受講できるレベル	2	2
62	オーストラリア	ジェームス・クック大学 *(派遣先は文系のみ)	IELTS 6.0 点以上(各セクション 5.5 点以上) TOEFL iBT 74 点(各要素:18 点以上)	2	2
63	ニュージーランド	ウェリントン・ヴィクトリア大学*	IELTS 6.0 点以上(各セクション 5.5 点以上) TOEFL iBT 80 点以上	2	1
64	パプア・ニューギニア	パプア・ニューギニア大学	確認中	3	3
65	パラオ共和国	パラオ地域短期大学	TOEFL iBT 61 点以上	1	1
66	ミクロネシア連邦	ミクロネシア連邦短期大学	TOEFL iBT 61 点、GBT 173 点、PBT 500 点以上、IELTS 5.5 点以上、TOEIC 500 点以上	4	0
67	マーシャル諸島共和国	マーシャル諸島短期大学	確認中	1	1
68	サモア独立国	国立サモア大学	確認中	3	1
69	トンガ王国	アテニシ大学	確認中	3	1
70	フィジー諸島共和国	南太平洋大学	TOEFL iBT 79-80 点以上	3	3
71	仏領ニューカレドニア	ニューカレドニア大学	確認中	3	1

72	フランス	リール科学技術大学	フランス語 B2 レベル以上	5	2
73		フランス国立高等研究院	確認中	3	確認中
74		トゥルーズ・ジャン・ジョレス大学	フランス語基礎レベル	5	1
75		トゥルーズ第一キャピトル大学	フランス語による提供科目を受講する場合：B2 レベル以上 英語による提供科目を受講する場合：TOEFL iBT79 点/IELTS 6.0/TOEIC785	5	確認中
76	ドイツ	ハインリッヒ・ハイネ・デュッセルドルフ大学	ドイツ語 B1 レベル以上	5	1
77	スペイン	ラ・ラゲーナ大学	スペイン語 B1 レベル以上	2	2
78		ラス・パルマス・デ・グラン・カナリア大学	スペイン語 B1 レベル以上	2	2
79	英国	シェフィールド大学	IELTS 6.0 点以上(各セクション 5.5 点以上) TOEFL iBT 80 点以上(リスニング 17 点、ライティング 17 点、リーディング 18 点、スピーキング 20 点以上)※各学部が別に定める必須スコアあり。	2	2
80	ロシア	極東連邦大学	英語による提供科目を受講する場合：TOEFL PBT 500、IELTS 5.0 ロシア語による提供科目を受講する場合：TORFL Level 1	2	2

2. ISEP (International Student Exchange Program)

ISEP (International Student Exchange Programs) は、1979年にワシントン市で設立され、世界各国の加盟校間で学生交換留学を推進する非営利法人で、世界的なネットワークを保有するコンソーシアムです。ISEPに加盟することで、学生交流協定を締結することなく、加盟校間での学生交流が可能となります。ISEP加盟校は、米国本土に約165校、全世界では54カ国300校に広がっており、中南米、欧州及びアフリカなど、本学が協定校を有しない国、地域の加盟校が多数加盟しています。

本学は、2019年4月にISEPに加盟し、短期交換留学生の派遣・受入を実施しています。今回の募集にかかる詳細は以下のとおりです。申請にあたっては、ISEP公式ホームページに掲載されている加盟大学情報を検索し、派遣期間中に専攻分野の学習・研究ができることを確認してください。

また、下の表に記載されている語学基準は、学内選考の最低ラインです。希望する派遣先大学上位10校が定める語学基準を満たしているか確認の上、申請してください。

ISEP公式ホームページ：<https://www.isepstudyabroad.org/>

	大学名	語学基準	今回募集する派遣学生人数
ISEP	世界各国300校以上のISEP加盟大学	TOEFL iBT 60点以上 IELTS 5.5以上	1

3. UMAP (University Mobility in Asia and the Pacific: アジア太平洋大学交流機構)

UMAP (University Mobility in Asia and the Pacific : アジア太平洋大学交流機構) は、高等教育分野における政府、又は非政府の代表からなる任意団体であり、アジア太平洋地域における高等教育機関間の学生・教職員の交流促進を目的として1991年に発足しました。

加盟各国が連携・協力して交換留学プログラムを運営するとともに、UMAP単位互換方式 (UCTS :

UMAP Credit Transfer Scheme) に基づく単位互換の普及などにより、アジア太平洋地域における学生等の交流を推進しています。

本学では、今回の募集から派遣学生を募集することになりました。申請にあたっては、UMAP公式ホームページに掲載されている加盟大学情報等を確認の上、派遣期間中に専攻分野の学習・研究ができることを確認してください。

また、下の表に記載されている語学基準は、学内選考の最低ラインです。希望する派遣先大学上位5校が定める語学基準を満たしているか確認の上、申請してください。

UMAP公式ホームページ：<http://umap.org/>

	大学名	語学基準	今回募集する派遣学生人数
UMAP	UMAP加盟大学（公式HPを確認してください）	TOEFL iBT 60点以上 IELTS 5.5以上	1

4. 部局間交流協定校のうち、学生交流協定を締結している大学

部局間交流協定校への交換留学は、各締結学部で募集・選考を行う。詳細は、各学部事務室に問い合わせること。

	国・地域名	大学名	締結学部
1	台湾	国立金門大学(経営学部)	国際地域創造学部
2	中国	広西医科大学	医学部
3		大連工業大学(情報科学工学部)	工学部
4		厦門理工学院	工学部
5	モンゴル	モンゴル保健総合大学	医学部
6		国立モンゴル科学技術大学	工学部
7	大韓民国	忠北大学校(工学部)	工学部
8		高麗大学校(国際学部・国際大学院)	法文学部 人文社会学部 国際地域創造学部
9		培材大学校	教育学部
10	ベトナム	ベトナム国家農業大学	農学部
11	カンボジア	カンボジア工科大学	工学部
12	バングラデシュ	ラジシャヒ工科大学	工学部
13	インド	マダン・モハン・マラビヤ工科大学	工学部
14	スリランカ	ルフナ大学	農学部
15	米国	ポールステイト大学	法文学部
16	イラン	テヘラン大学	工学部
17	トルコ	パムツカレ大学	工学部
18	フランス	レンヌ第一大学(電子通信情報研究機関)	工学部
19	スペイン	バルセロナ自治大学(通訳翻訳学部)	法文学部
20	スウェーデン	ヨーテボリ大学(文学部)	法文学部 人文社会学部 国際地域創造学部
21	南アフリカ共和国	国立ケープタウン大学	医学部